

# 技術士制度におけるIPD事業の構築に向けた検討状況について

2026年2月  
日本技術士会

- 1. 日本技術士会におけるIPD事業の概要**
- 2. 段階的整備の状況**
- 3. IPD事業への参加意欲の醸成**
- 4. 今後の予定**

# 1. 日本技術士会におけるIPD事業の概要

## (1) IPD事業の目的

- ☑ 若年層技術者の育成環境の提供
- ☑ 修習技術者等の迅速なスキル獲得のための仕組みの整備
- ☑ 技術士資格取得の早期化
- ☑ 國際標準の資質能力を備えた技術者全体の育成

## (2) 対象者

修習技術者（技術士試験第一次試験合格者及びそれと同等と認められた者）

## (3) IPD事業による対象者の資質能力の向上

日本技術士会は、修習技術者の資質能力の獲得を支援するため、修習技術者が当会で行っている技術士の資質能力（※）の維持・向上に関する取組と同じ枠組みの基で活動できるよう、各種行事、IPD事業活動実績のWEB登録・管理及び活用の仕組み等を提供

（※）技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）

文科省技術士分科会（改訂令和5年1月）

## 2. 段階的整備の状況

### (1) 第一段階（2025年度）

- ☑ ガイドライン・マニュアル整備  
1月理事会にて策定済
- ☑ ユーザー管理、IPD実績登録システム整備  
3月目途に整備中
- ☑ 関係規則類整備（委員会所掌、事務局組織整備等）  
3月理事会にて審議予定
- ☑ 関係機関との連絡、広報活動の実施  
事業開始前から開始

### (2) 第二段階（2026年度以降）（事業の進捗状況、参加者の状況等に応じ順次整備を検討）

- ☑ IPD行事予定の閲覧、IPD行事の参加申し込みのオンライン化
- ☑ IPD活動実績の証明発行等のオンライン化

## 工程表（2026年1月現在）

実施事項等	2025(R7)年度				2026(R8)年度以降				備考
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	...	
全体工程				■	■	■	■	■	SS 開始 システム改良
実施計画	■	■			■	■			2026 年度実施計画修正
規則・マニュアル作成		■	■						
関係規則類整備 (委員会所掌等)			■	■					
ユーザー管理、IPD 実績登録システム構築	■	■	■						
IPD 登録証明書発行、 発行履歴管理				■	■				
IPD 会員の「CPD 行事」 利用対応					■	■			
周知・広報			■	■	■	■	■		
理事会	■	■	■		■	■			2025/9, 2026/1
文科省分科会報告	■		■		■	■			2025/9, 2026/2
次年度以降 モニタリング・計画修正								■	2027 年以降 IPDSS 参加者アンケート等

### 3. IPD事業への参加意欲の醸成

#### ○ 参加者にとってのインセンティブ

- ☑ **自らの資質能力の向上の履歴の記録と第三者（日本技術士会）による証明を得ることができる**
- ☑ **技術士と同様な視座のもとで、自らの学びを俯瞰することができ、学びの蓄積の客観的把握・資質バランスの偏重・弱点発見につながる**
- ☑ **日本技術士会において、CPDと同等の登録・審査・証明のサービスが可能となるため修習技術者が技術士とともに資質向上の取組に励むことができる**

#### ○ 今後の課題

- ☑ **「IPDシステムの利用者のインセンティブ向上も視野に入れ、技術士制度の見直しに向けた検討も必要」（令和6年7月文科省IPD懇談会「技術士制度におけるIPDに関する懇談会の議論のまとめ」）**
- ☑ **「技術士制度の活用を促進させるためには、技術士をリスペクトする文化の醸成やインセンティブの見える化が重要となる」「技術士の人材育成を促進するため、若手技術者に対する初期専門能力の育成から、資格取得、取得後の継続研さんまでの一貫した支援が期待されている」（令和7年7月文科省人材委員会「今後の科学技術人材政策の方向性について（中間まとめ）」）**

## (参考) 技術士制度の各段階における人的規模感

